

(様式第1号)

研究No. (記載不要)	19-学長-11
-----------------	----------

平成19年度配分 研究成果の概要

研究名	「2020年の街とSUACのあり方」調査研究				
配分を受けた 特別研究費	学長				特別研究費 1,300千円
研究者氏名 (代表者)	学 部 名 (研究科名)	学 科 名	職	氏 名	共同研究の 場合の分担
	デザイン研究科		研究科長	川口 宗敏	
共同研究者	文化政策学部	文化政策学科	教授	森 俊太	
	文化政策学部	文化政策学科	教授	根本 敏行	
	文化政策学部	芸術文化学科	講師	立入 正之	
	デザイン学部	空間造形学科	教授	寒竹 伸一	
	デザイン学部	空間造形学科	講師	花澤 信太郎	
	事務局		次長	宮崎 親佳	
	企画室		主幹	山本 茂之	
				富田 晋司	
			坂田 昌代		
発表の方法 (予定で可)	1 紀 要		号 数	第 号 ( 年 月発行)	
	2 学会等での発表 学会等名:		発表日 (発表 予定日)	平成 年 月 日	
	3 その他 発表の方法:毎月1回開催の研究会		発表日 (発表 予定日)	平成19年11月から、 毎月1回の研究会開催 (計5回開催)	

注:配分を受けた翌年度の6月末までに提出

(研究の目的等)

本研究は地域社会における本学の役割と将来ビジョンについての研究を行う。  
2020年までの今後10年間の視野に、「まちづくり」を中心テーマとし、本学の都心型立地を活かした構想をとりまとめ、内外に公表する。

本研究によって次のような成果が期待される。

①地域社会の活性化、まちづくりにおける本学の役割、さらには行政・市民・大学の協働・連携の在り方について提案を行い、政令市浜松の発展に貢献する。

②わが国の地方都市において、地域社会と大学との新たな関係についてのモデルを提案し、大学の社会的役割に関する新領域を開拓する。

(研究の実施方法等)

○研究会を毎月1回開催し、研究メンバーおよびゲストによる関連のプレゼンテーションとディスカッションを行った。研究会の内容および関連資料についての整理を行い、メンバー間の情報共有を図るとともに、関連情報の収集を目的とした視察、ヒアリング等を行った。

○本研究は浜松市の整備事業計画、市街地再開発事業、公園緑地整備計画等と密接に関連することから、毎回の研究会に浜松市役所の担当者を招き、計画や事業についてのヒアリングやディスカッションを実施した。

(得られた成果等)

平成19年度の本研究プロジェクトにより得られた成果は別紙の通りである。

(別紙1)

## 「2020年の街とSUACのあり方」調査研究の成果

## 1. 浜松市の整備事業計画（浜松市役所担当部署による説明）の整理

## (1) 東地区土地区画整理事業（都市計画部 区画整理課）

## ①東第一土地区画整理事業

1987～2010年度、総事業費652億円、施行地区面積25.9ha

新拠点建設：シビックコア（官公庁施設）

## ②東第二土地区画整理事業

1992～2008年度、総事業費443億円、施行地区面積27.2ha

新拠点建設：静岡文化芸術大学、東小学校、野口公園（教育文化ゾーン）

## (2) 市街地再開発事業（商工部 都心政策課）

## ①中心市街地空洞化・衰退の原因

郊外化（人口・事業所）、老舗百貨店撤退（2001）

モータリゼーション、郊外大型店、まちづくり組織・活性化計画の限界

## ②中心市街地活性化の必要性

「選ばれる都市」の為に都心部の魅力・質、

既存投資の活用、コンパクト・シティの実現（環境負荷に配慮）、税収の確保

## ③中心市街地の課題

・商業機能（老舗百貨店・大型店の破綻・撤退、小売販売額・歩行者通行量減少、  
賑わい喪失長期化）

・居住機能（現在は回復傾向、魅力的な都心生活空間の形成）

・業務機能（支店・事業所の統廃合、事業所の流出、業務機能収縮、就業人口減少）

## ④基本目標

魅力ある商業空間形成、浜松らしい都市文化・都市空間、

「創業都市」に相応しい業務機能

## ⑤主な事業展開

市街地整備（鍛冶町地区等）

商業振興（特例地域指定、大型商業施設進出支援、優遇税制等）

## ⑥最近の動き

百貨店（大丸）、大型商業店（ビックカメラ）の進出計画

## (3) SUAC周辺関連公園整備（公園緑地部公園課）

## ①野口公園（近隣公園、1.1ha）

## ②馬込川公園（総合公園、全体45ha）

中区曳馬町～南区中田島町の内、東地区内は1.0ha（右岸地区、都心ウォーターフロントゾーン）

## ③浜松城公園（エントランス整備、建物復元）

2. 平成19年度の研究会を通じて提示された意見・アイデア（別紙2）

3. 平成19年度の研究会において提示された基本的な方向性（まとめ）

- (1) 浜松市「東地区」（特に東第二地区）の基本コンセプトの一つである教育、文化、芸術に関わる諸活動をベースとして、学生や教員の生活と一体となった「大学まち」、「学園ゾーン」の形成によって当該地区の活性化を図る。
- (2) 浜松地域に立地する他大学、専門学校とも連携し、活発で多様な「若者」の諸活動と生活を通じて都心部の再生を図る。
- (3) 大学、専門学校の国際交流活動を通じて浜松に集う留学生や地域に居住する外国人との活発な交流を図り、継続的な多文化共生を実践する。
- (4) 学生、外国人をはじめ、様々な人々が集う「賑わい」や「交流」の空間をすることにより、政令市浜松における新たな文化やネットワークの創造に寄与する。

5. 平成20年度以降の研究会の名称検討

「芸術文化夢舞台プロジェクト」とする。

## 平成19年度研究会を通じて提示された意見・アイデア

	ハード	ソフト	
大学(SUAC)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・建物構造の問題(外に広がる構造でない)</li> <li>・パイプオルガンの設置</li> <li>・学内空きスペースのリニューアル</li> <li>・大学のライトアップ</li> <li>・看板設置</li> <li>・留学生会館の設置</li> <li>・大学の宣伝、アピール(公共施設内等)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・情報発信のプラットフォーム作り(出版事業など)</li> <li>・世界の博物館パンフレットの日本語訳制作</li> <li>・西ギャラリー、講堂の活用</li> <li>・学生の労働力(アルバイト)を文化的な方向に</li> <li>・新たな浜松文化論の展開(連続講座の開講など)</li> <li>・大学が結節点となって市民の流れを作る</li> <li>・企画立案演習、卒業制作における統一テーマの設定</li> <li>・浜松の個性を考える為の学生のバスツアー("元気な都市"を視察)</li> <li>・海外の良質ソフト;グッゲンハイム美術館(NY)などとの連携調査</li> <li>・産業都市からの転換事例調査(ルール工業地帯など)</li> </ul>	
東地区	<ul style="list-style-type: none"> <li>・気軽に集えるカフェや食事をする場所の設置</li> <li>・税制特例による大学・教育・文化関連施設の設置推進</li> <li>・東地区南側への核となる施設の設置</li> <li>・留学生会館の設置(外国人留学生が安心して居住でき、夜も賑わう場)</li> <li>・文化芸術関連の特別地区指定、特別税制措置</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・学生、職員の集える場</li> <li>・碧風祭の学外展開(東地区、アクト通など)</li> <li>・学園通の活用(卒業制作の展示など)</li> <li>・若者とアートがある空間(ベネッセアートサイト直島などの例)</li> <li>・イベントの開催</li> <li>・公会堂(馬込町、東田町など)の活用(学生の活動に)</li> <li>・学長はじめ教員、スタッフの居住促進</li> <li>・第一地区と第二地区を結ぶ道路の活用</li> </ul>	
浜松市	都心	<ul style="list-style-type: none"> <li>・大学、大学院の分散(東地区、アクトシティなど)</li> <li>・浜松駅、SUAC、浜松城のトライアングルをまちのシンボルに</li> <li>・浜松城、シビックコア(東第一)、SUACを結ぶ歩行空間の整備(市民がコミットできる空間整備の仕組みなど)</li> <li>・公共施設の再配置(アクトシティ、駅前・東地区など)</li> <li>・コンコルド(Hotel)、SUACを結ぶ六間道路の整備</li> <li>・美術館等公共文化施設の再配置</li> <li>・サロンスタジオなどクリエイター、学生が集う場所の設置</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・学生の都心居住の促進</li> <li>・循環バス(くるる)の運行時間延長</li> <li>・空き店舗の活用(学生の居住と研究の場に)</li> </ul>
	公園	<ul style="list-style-type: none"> <li>・親水公園の整備</li> <li>・ピオトープ</li> </ul>	
	全体	<ul style="list-style-type: none"> <li>・専門性の高い留学生、外国人の活躍の場</li> </ul>	
その他		<ul style="list-style-type: none"> <li>・他大学(静岡大/工・情報、浜松医科大、浜松大、聖隷クリストファー大、浜松学院大など)との連携</li> <li>・専門学校(情報、デザイン、調理・製菓、観光、医療など)との連携</li> </ul>	